

日本哲学会 第 67 回大会（広島大学）プログラム

2008 年 5 月 17 日（土）＜第 1 日目＞

<p>10:40 【研究発表第 1 会場】(文 B204)</p> <p>ヴォルフ・シンガーの自由意志論 桐原 隆弘</p> <p>真理の収斂説とは何か 石田 正人</p>	<p>【研究発表第 2 会場】(法経 B155)</p> <p>シェリングにおける「生きた自然」と 「主体としての自然」 能登谷 美佳</p> <p>統合の原理とロマン主義の精神 中村 美智太郎</p>	<p>【研究発表第 3 会場】(法経 B255)</p> <p>永遠義務としての平和 田中 美紀子</p> <p>民間人保護を巡る正戦論への建設的批判 眞嶋 俊造</p>
--	---	---

12:00
委員会(文 B151 文学部大会議室)

13:00
第 60 回総会（サタケメモリアルホール）

【第 60 回総会 式次第】	
・議長挨拶	(水田 英実)
・会長挨拶	(高山 守)
・一般報告	(高田 純)
・会則の変更	(高山 守)
・国際交流活動報告	(種村 完司)
・前年度決算報告	(堀江 聡)
・会計監査報告	(高橋久一郎・山田弘明)
・本年度予算案審議	(堀江 聡)
・編集委員会報告	(座小田 豊)

14:00
【シンポジウム】(サタケメモリアルホール)
「平和・戦争・暴力」
提題者 町田 宗鳳 司会者 北川 東子
石崎 嘉彦 越智 貢
コメンテーター 秋葉 忠利
大嶽 秀夫

17:00
休憩

18:00
懇親会（広島大学学士会館）
（会費 5,000 円）

20:00

大会本部（文 B151）
会員控室（法経 B159）
電話連絡先：090-3802-5114

2008年5月18日(日) <第2日目>

<p>10:40</p> <p>【研究発表第1会場】(文 B204)</p> <p>トマスと 原子から成る世界 二態 高橋 淳友</p> <p>プラトン『国家』における気概は分割されるのか 早川 量介</p>	<p>10:00</p> <p>【研究発表第2会場】(法経 B155)</p> <p>ハイデガーにおける自己批判としてのニーチェ論 木村 史人</p> <p>レヴィナスにおけるパガニズム概念の変遷と その意義 馬場 智一</p> <p>ハイデガーの「世人」概念と実践知の問題 池田 喬</p>	<p>10:00</p> <p>【研究発表第3会場】(法経 B255)</p> <p>バークリーの観念説はロックの観念説を修正した 立場なのだろうか 馬場 鉄兵</p> <p>tag としての実体的紐帯 山口 裕人</p> <p>スピノザ『知性改善論』における方法論とデカルト批判 藤井 千佳世</p>
--	--	---

12:00
委員会(文 B151 文学部大会議室)

<p>13 :00</p> <p>【研究発表第1会場】(文 B204)</p> <p>アリストテレス『トピカ』における「付帯性」概念と その意義 高橋 祥吾</p> <p>アリストテレス『自然学』における無限と空虚 松浦 和也</p>	<p>【研究発表第2会場】(法経 B155)</p> <p>承認とアイデンティティ 碓 智樹</p> <p>ヘーゲル『法の哲学』における「家族論」 濱井 潤也</p>	<p>【研究発表第3会場】(法経 B255)</p> <p>フィヒテ知識学における自覚と能力 高橋 和義</p> <p>フィヒテ『道徳論講義』における憧憬(Sehnen) の概念について 村下 邦昭</p>
---	---	---

14:20 14:30 休憩

<p>14:30</p> <p>【共同討議】(法経 B155)</p> <p>「哲学史を読み直す イスラーム思想の視点から」 提題者 山内 志朗 竹下 政孝</p> <p>司会者 清水 哲郎</p>	<p>【共同討議】(法経 B255)</p> <p>「脳科学と心」 提題者 武田 一博 信原 幸弘</p> <p>司会者 戸田山 和久</p>
---	---

16:30 終了